

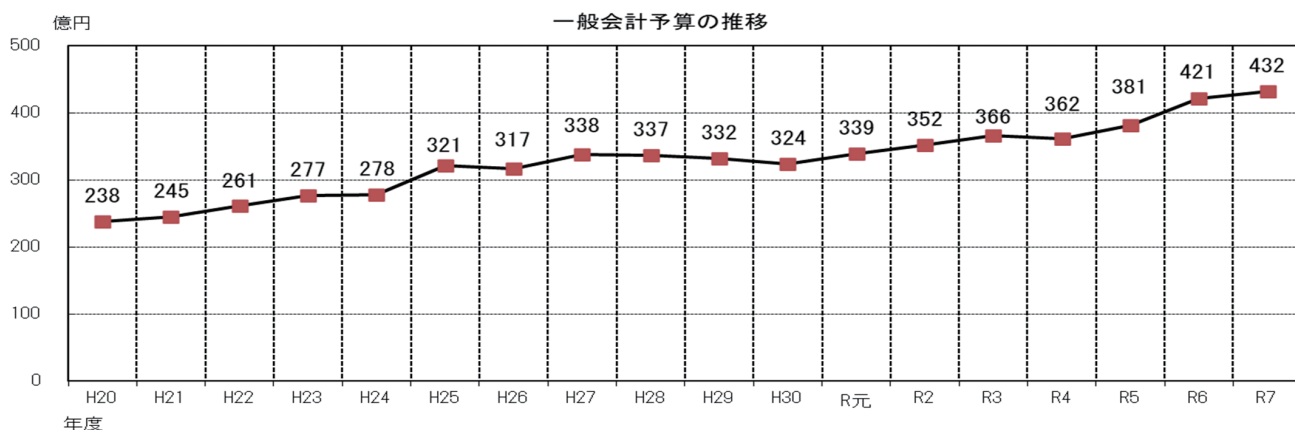


— 令和6年鎌ヶ谷市議会定例会 令和7年3月会議 —

令和7年度当初予算成立

一般会計432億2,000万円(前年度比2.6%増※過去最大規模)

「変革を、未来につなげる原動力に」をテーマに編成された過去最大規模の令和7年度当初予算の審議にあたって、私は予算審査特別委員会の委員長を務め、慎重な審査を行いました。新年度予算には、千葉県が所有していた新鎌ヶ谷駅前の土地を市が取得して企業誘致を行うなど、従来にはなかった「変革」を念頭に、これを未来につなげる原動力として位置づけられるような予算が盛り込まれています。新京成線連続立体交差事業（市内12か所の踏切を除却し高架化する事業）もこの3月で完了し、新鎌ヶ谷駅周辺地区を中心とした開発などにより、鎌ヶ谷市は大きく変わりつつあります。



「～変革を、未来につなげる原動力に～」すべく新規・拡充事業を計上

1 子育て世代の支援

- 待機児童対策(認定こども園2施設の整備)【3億3,641万円】

ポイント 令和7年度中に1施設(定員90人)、
令和8年4月に1施設(定員60人)の認定こども園を整備

- こども家庭センターの設置(令和7年4月1日)

ポイント 妊娠・出産・子育ての悩みや不安などの相談を行う
「こども家庭センター」を設置

- 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の実施【350万円】

ポイント 生後6か月から2歳までの未就園児が保育施設を時間単位で利用
令和7年10月から道野辺保育園で実施予定

- 小学校1年生の学校給食費の無償化【2,956万円】

ポイント 子育て世帯の経済的負担軽減のため、小学校1年生の学校給食費を無償化



楽しくお遊戯

2 北千葉道路の整備を見通したまちづくり

- 北千葉道路沿線の地籍調査の実施【2,711万円】

※国の補正予算を活用し、3月補正に前倒し

ポイント 北千葉道路の事業化を見据え、地籍調査に着手

- 北千葉道路沿線を含む

市街化調整区域の土地利用方針の策定【1,104万円】

ポイント 北千葉道路の事業化を見据え、市街化調整区域における土地利用方針策定のための調査



現在の国道464号(北千葉道路)

3 災害に強い安全、安心なまちづくり

- 避難所公共施設への空調設備の設置・改修【7億1,079万円】

ポイント 夏場の暑さ対策や災害時の避難所の環境改善のため、令和7年度は小中学校6校での設計・工事と市民体育館での工事を予定

- 防犯カメラの設置及び補助金の交付【1,020万円】

ポイント 闇バイト問題などを受け、市内における防犯カメラの設置を拡充



令和6年度に空調設備が整備された
鎌ヶ谷小学校体育館

4 緑にあふれ、豊かな産業が育つまち

- 貝柄山公園トイレ改修の実施【6,342万円】

ポイント 老朽化が進む貝柄山公園内の北口トイレを改修

- (仮称)緑道整備の実施【2億5,505万円】

ポイント 北初富駅と新鎌ヶ谷駅の間を結ぶ東京10号線延伸新線跡地において、(仮称)緑道として街区公園を整備



公園予定地
(整備された自転車歩行者専用道路の左横)

3月会議トピックス

～市の財政状況について～

鎌ヶ谷市は、当初予算編成後と決算後の年2回、財政推計を公表していますが、県内54市町村中、このように公表しているのは16市町村に留まっています。

この財政推計は、計画の見直しや従来以上の歳入確保・歳出削減の方策を、仮に何も行わなかった場合を前提として算出しており、これまでに公表した推計においても財源不足を見込んで公表しています。あえて厳しい状況を公表し、行財政改革を進めることで、現実には、財源不足を生じさせてはいません。あらかじめ、厳しい状況を踏まえて、行財政改革の手綱を決して緩めないという認識のもと、着実な行財政運営を今後も継続していただくよう要望します。



勝又まさる —プロフィール—

議会所属委員会など

●総務企画常任委員会 委員
●都市計画審議会 委員

●議会運営委員会 委員
●社会福祉協議会 評議員